

# 一歩

## 新入生もがんばり、レベルアップ

昨日、1年生のクラスの英語の自習監督に出ました。まだ前期が始まったばかりで、教科担当の先生もまだ1回授業に出ただけで、英語2時間目にして自習となってしまいました。

残念ながら、授業開始から小学生のような学習意識の低さを見せました(もしかしたら、小学校ではきちんとできていたかもしれませんが・・・)。

### 【中学生としてダメ その1】

授業開始時、教科の準備ができていない生徒が一人いました。まだ休み時間の使い方が上手にできないのかもしれませんが。その生徒はロッカーの所に行っており、そのままの状態であいさつをしようとしていました。自分の席に着けていない、学習用具が準備できていない状態です。これはダメです。



### 【中学生としてダメ その2】

ほとんどの生徒はあいさつをしていましたが、後ろや横を向いておしゃべりをしながらあいさつをする生徒がいました。正しくはあいさつできていない生徒がいました。あいさつの号令がかかっても、おしゃべりをやめられず、そのまま後ろや横向きのまま。これでは、学級の授業開始時のあいさつとしてはダメです。



ロッカーの前で自分の教科準備をしている生徒に一度やめさせ、「学級みんなであいさつする」こと、おしゃべりをしている状態を指摘して「あいさつの時におしゃべりはやめること」を伝え、再度あいさつをやり直してもらいました。

あいさつは、他との人間関係を築く中で、たいへん有効な手段です。3年生のみなさんの多くは、それに気づいている人も多いことでしょう。

昨年度3月、2年生最後のランチがランチルームでした。ごちそうさまの時に、食育委員の関根君の呼びかけで、2学年全員が配膳室に向かって大きな声で「ごちそうさまでした。一年間、ありがとうございました。」と感謝のあいさつをしました。たいへん素晴らしいことです。それを聞いた配膳員さんたちは「うれしかったです」「感激しました」と感想を伝えてくれた方もいらっしゃいました。たった一言あいさつできることが、周囲の仲間や先生方、あるいはお家の方の気持ちをよくすることになり、良好な関係ができてくるのです。

### 【中学生としてダメ その3】

自習課題が終わり始めると、1年生の生徒は徐々におしゃべりの声が大きくなってきました。中には、隣の生徒をつつき始める生徒もいました。ちょっと落ち着きのない子どもと言えば穏やかな言い方ですが、落ち着きのない生徒は取組がいい加減になりがちで、持っている力も発揮できずにいる場合がほとんどです。やればできる生徒が取り組まず落ち着きのない行動をとるのは、中学生としてダメな行動です。





「その1」から「その3」までの【ダメな行動】は、どれもその生徒自身が自分中心にものごとを考えている行動だと気づいた人もいることでしょう。休み時間に終わられる「学習用具準備の遅さ」や、「自分と友達とのおしゃべりを優先」する行為、おしゃべりを始めたら隣が気になり、ちょっかいを出したくなる「衝動をコントロールできず隣をつつく」行為はどれも自分自身が中心の考え方のもととっている行動です。すべて「自分が

したい欲求のまま」の行動であったり、「自分をコントロールできない」行動です。休み時間で準備ができない、おしゃべりをやめられない・気づけない、やりたい気持ち(ここでは、隣の人を指でつつきたい気持ち)をコントロールができない人の行動です。

しかし、注意を受ければ1年生もできるようになってきます。昨日の自習でも、注意を受けた後は、自分の取り組むべき課題に取り組み、隣と話をするときも声のボリュームを小さくし、隣にちょっかいを出すこともなくできています。こういった改善が成長に繋がっていきます。



1年生の行動を見ると、3年生のみなさんがいかに成長したかが改めて実感でき、みなさんがこれまでがんばってきたことがわかります。

昨日から部活動の仮入部も始まりました。各部で自分たちの練習をしながら、1年生の練習の面倒を見てあげていることでしょう。3年生にとって当たり前のようにできることであっても、1年生には初めてで戸惑いながら取り組んでいるかもしれません。また、一生懸命の受け止め方や、内容、レベルも異なるかもしれません。

学年の違う後輩を面倒見るとは、相手の立場まで自分のレベルを下げて指導しなければいけないかったり、相手を自分のレベルまで上げるようにしなければいけません。状況に合わせ、1年生もレベルアップさせてあげることが、2・3年生の練習レベルの向上にもなります。

## 検尿 容器捨てないで

今日、検尿の提出日でした。今日提出できなかった人は24日(水)に提出します。少し日にちが空きますが、容器等は捨てないでください。

